

フリガナ 申込者氏名	指導員歴 参加回数	年目 はじめて・ 回目
性別(男・女)	お立場	保護者(OB含む) その他( )
受講票送り先 職場・自宅(〒 )	学童保育所名・所在地 学童保育所名 都道府県・市区町村	
連絡先	講座変更など確認のために連絡する場合がありますので、昼間連絡の取れる連絡先をご記入ください [職場・自宅・本人携帯] ( )	
講座(午後)	第1( )第2( )第3( )必ず第3希望までお書きください	
振込	振込日	月 日 振込方法 横浜銀行・郵便振替
受講料	2,500円十弁当代800円×( )個計 円を添えて申し込みます。	
保育希望	①( )歳( )人●特記事項 なし・あり( ) ②( )歳( )人●特記事項 なし・あり( )	

●申込・問合せ先 神奈川県学童保育連絡協議会 神奈川県横浜市中区扇町3-8-7三平ビル201  
Tel: 045-662-9647 Fax: 045-663-4118 〒231-0027  
e-mail: kana\_ken@pc4.so-net.ne.jp HP: http://kanaken.onushi.com/

ご記入いただいた個人情報は、本指導員学校運営に関する業務、および、各種研修会等の受講案内に関する業務に必要な範囲で、全国学童保育連絡協議会の管理責任のもと、本指導員学校を主催する各連絡協議会と共同利用いたします。本人の許可なく第三者への提供は行いません。(詳しくは全国学童保育連絡協議会ホームページをごらんください)

キリトリ

## 午後の講座 13:00～16:00

講師の敬称は略させていただきます。

### 基礎講座 - 指導員として基本的な事項を学びます -

\*は「改訂テキスト学童保育指導員の仕事」で講座に対応する箇所です。基礎講座は「テキスト学童保育指導員の仕事」を使用しますのでご持参ください。テキスト(800円)は当日購入可能です。

#### 1 学童保育とはなにか、指導員の仕事・役割はなにか

講師●小野さとみ(東京都町田市指導員・全国学童保育連絡協議会)

学童保育は共働き、ひとり親家庭等の子どもたちに安心して共感しあえる生活を保障することで、保護者の労働、家庭の養育を支えています。指導員には子どもたちが安心して学童保育の場に帰ってこられるように、一人ひとりを理解し、生活の見通しが持てるよう寄りそう支援が求められます。この講座では、指導員の仕事・役割などについて具体的に学びます。\*第1課・第2課・第8課

#### 2 学童保育の生活で大切にしたいこと

講師●北村理絵(東京都目黒区指導員)

子どもたちはいろいろな思いを持って学童保育に帰ってきます。また夏休みなどは朝から学童保育で過ごします。指導員は、一人ひとりの子どもが安心してのびのびと生活できる場を子どもと一緒につくっていきます。学童保育でのいきいきとした生活を保障していくための見通しを持った保育計画も含め、学童保育の生活で大切にしたいこと、子どもとのかかわりを中心に実践から学びます。\*第3課・第4課・第7課2

#### 3 学童保育の一日と指導員の仕事・毎日の実務

講師●中澤直子(東京都武蔵野市指導員)

指導員の仕事とはなにか、子どもたちの一日の生活を、どのようなねらいを持ち、組み立てていくのか。そのためには打ちあわせや保育準備が必要です。指導員は、子どもたちの日々の生活を記録し、保護者に子どもの様子を伝えます。学校や行政と連携しながら、保護者とともに子どものことをたしかめあい、指導員集団で共有し、子どもと向きあっていくことの大切さなど、具体的な指導員の仕事と実務を学びます。\*第1課3・第4課・第5課6・第6課・第7課

#### 4 子どもを理解するための日々の記録

講師●菅原亜樹子(神奈川県横浜市指導員)

日々の子どもの様子、指導員のかかわりなどについて記録することは指導員の仕事です。保育のなかで起きたことや状況などを曖昧な記憶ではなく毎日記録に残すことは、継続的な子ども理解や保護者との伝えあいなどにも不可欠です。記録する必要性や工夫、配慮などについて学びます。\*第5課6(2)・第7課1

### 実践講座 - 指導員の仕事を実践的に学びます -

#### 5 子どもの生活を保護者と伝えあう

講師●清水純子(東京都目黒区指導員)

指導員として保護者に子どもの様子を「伝える」とき、なにを大切にしていますか? なにを・どのよう・どのタイミングで・なぜ伝えるのか。保護者の就労、家庭の養育を支えるために、仕事として「伝える」こと、そして保護者と伝えあえる関係を育むことの大切さを学びます。\*第8課

#### 6 配慮が必要な子どもを含めた生活づくり

講師●八木晶子(神奈川県横浜市指導員)

「落ち着きがない」「すぐにカッとなる」「友だちと遊べない」など、行動が気になる子に悩むという声が聞かれます。指導員が一人ひとりの子どもの抱える背景や困難について理解し、その子の可能性に気づくことが大切です。どの子も、ともに学童保育の仲間として育ちあうための配慮や働きかけ、まわりの子どもたちとの関係づくり、保護者とのかかわりについて学びます。\*第2課3・第3課2(4)

#### 7 高学年を含めた生活づくり

講師●内海洋子(神奈川県平塚市指導員)

学童保育は1年生から6年生までの異年齢の子どもたちがともに生活する場です。それぞれの子どもに寄りそい、生活を保障し、通いつけられる居心地のよい場所であるためには、どのような配慮や支えが必要とされるのでしょうか。高学年までの異年齢の子どもたちの生活づくりについて学びます。\*第3課2(3)

#### 8 学童保育における安全を考える

講師●鈴木美加(千葉県八千代市指導員)

毎日を安全に安心して過ごすことは学童保育の基本です。学童保育の生活のなかでどのようなケガや事故が起きやすいか、子どもたちが自分を守り、お互いを守る力を育てる安全教育、指導員が行う環境整備、安全対策、危機管理、緊急時の対応などについて学びます。\*第5課



### 9 学童保育の生活とあそび

講師●笹川瑞穂(神奈川県横須賀市指導員)

子どもたちはあそびの中で、さまざまな発見を楽しんだり、人間関係を育んでいます、一緒によるこび、悩む指導員がいるからこそ、子どもたちはより安心してあそびに夢中になれるのです。学童保育の生活のなかで子ども自身が主体的にあそぶことの大切さと指導員のかかわり方を学びます。\*第4課2

### 10 実践記録を検討する

講師●永松範子(神奈川県横須賀市指導員)

日々のことを記録し、指導員同士で記録を基にした実践のふり返りは、大切な仕事です。なにを課題とみて、どうかかわったのかを振り返る実践記録を学ぶ積み重ねが保育の向上につながります。実践を検討することの意味を学びつつ、当日は実際のレポートを使って検討します。\*第10課4

### 11 指導員のチームワーク・職場づくり

講師●飛鳥井祐貴(神奈川県横須賀市指導員)

子どもたち一人ひとりをていねいにとらえ、かかわっていくために、学童保育で働くすべての職員が子どもたちのことを語りあい、伝えあうことが必要です。また、お互いの動きや子どもへのかかわりをたしかめあうことで、実践を高めていくことにつながります。どうすれば仕事をすらすらとよりよい職場をつくれるかを学びます。\*第11課2

### 12 学童保育と学校・地域との連携

講師●田中一聖(東京都目黒区指導員)

「放課後児童クラブ運営指針」においても、子どもや家庭を支えるために学校・地域と連携することが求められています。学校・地域の理解と協力を得ていくためには、学童保育の役割や子どもの生活をどのように伝えていくのかがとても重要です。学校、地域、さらには地域の関係機関や施設との連携の重要性と必要性、またその意義について学びます。\*第6課5・第9課

### 理論講座 - 子どものことをより深くとらえるために専門的に学びます -

#### 13 子どもの世界を理解する

講師●神代洋一(元品川区学童保育指導員・現明星大学教育学部非常勤講師)

子どもの権利条約が日々の暮らしのなかでどれだけ意識されているでしょうか。スマホ・ゲーム文化が浸透し、生活スタイルも変容してきた今日、子どもたちは日々心地よく、共感しあって生きています。遊びは子どもの主食です」と警鐘が鳴らされるなか、あらためて子どものあそび・生活を見つめなおし、指導員としての子ども理解を学びます。

#### 14 発達障害の子どもたちの理解と支援

講師●岸川 学(神奈川県立保健福祉大学助教)

発達障害のある子どもたちも学童保育に通ってきています。発達障害のある子どもの特性を理解し、どう支援していくか。共に生活する子どもたちへの理解やつながりをどのようにつけていくか。学童保育のなかでなにができるかを学びます。\*第2課3

#### 15 子どもの発達の仕組みを学ぶ

講師●高橋浩平(東京都杉並区杉並第四小学校校長)

学年が上がるにつれてさまざまな言動の違いをみせる子どもたち。それぞれの身体的、精神的発達の特徴を理解し、目の前の子どもたちが表現している行動や言葉の裏にもある想いや要求を受けとめることが求められます。一人ひとりの子どもの成長をどう支えていくか、子どもの発達の仕組みについて学びます。\*第2課2

#### 16 学童保育での子どもの人権と職業倫理

講師●高橋 誠(東京都文京区指導員・全国学童保育連絡協議会)

知らず知らずのうちに子どもを傷つけていませんか? よかれと思ってしているあなたの行動が、もしかすると子どもを傷つけているかもしれません。子どもの人権を守るために指導員として必要な職業倫理について学びます。\*第1課2・第2課1・第11課1

#### 17 学童保育における家族支援

講師●下浦忠治(東京成徳大学講師・元品川区指導員)

あとを絶たない哀しすぎる児童虐待。子どもや保護者の哀しみを未然に防ぐために学童保育の役割が求められています。被虐待の子どもたちのほとんどが家庭に帰っている現状から、再発防止の対応も求められています。虐待や不適切な関わりがもたらす影響を学び、子ども・保護者が経済的困難をはじめさまざまな困難ゆえに孤立していかないように、気づきと支援の手立てを学びます。\*第2課3(2)・第3課2(5)・第9課4～5

#### 18 学童期の子どもと性

講師●大木静子(千葉県八千代市養護教諭)

子どもが大人になる過程で起こる身体的な変化として第二性徴があります。個人差はあるものの、心にも身体にも変化が訪れる時期です。答えにくいことをきかれてこまることもあります。本当に必要なことは子どもが自分の心と身体について知ることです。「からだのことで分からないことやこまったことがあったら、いつでもきいてよのだ」という安心感を子どもが持てるような関わり方や知識を学びます。\*第2課2(1)

### 実技講座 - 指導員として必要な実技を学びます -

#### 19 いっしょにあそぼう

講師●千葉県連協あそび隊

あそびは学童保育の生活の中心です。指導員は、どの子にとっても魅力ある生活の場になるよう、さまざまなあそびの選択肢を用意しておくことが必要です。学童保育のなかで楽しめる集団あそびのいくつかを実際に行いながら、あそびきることの楽しさを学びます。※運動の出来る服装、運動靴をご用意ください。

### 特別講座 - 学童保育をめぐる情勢と課題、指導員の労働条件改善など運動に関わる問題を考えます -

#### 20 学童保育と指導員をめぐる情勢と課題

講師●木田保男(全国学童保育連絡協議会)

子ども・子育て支援新制度がはじまり、5年間の「事業計画」の最終年を迎えます。学童保育を取り巻く国の動きを理解し、新制度で学童保育はなにが変わり、どう変わろうとしているのか、学童保育と指導員をめぐる制度について学びます。これからの学童保育をよりよくするためになにが必要かを考えていきましょう。\*第1課4・第10課1・第12課